

「お茶の間クラシックシリーズ 1」

～室内楽と声楽アンサンブルによる、イギリス民謡とバッハな昼下がり～

日時：平成21年5月31日(日)

開場：午後2時半、開演：午後3時

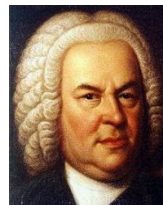
場所：善慶寺 ホール常照殿 (電話：3657-4831)
(京成電鉄・小岩駅より徒歩2分、江戸川区北小岩 6-34-20)

入場料：大人 1000 円 (ワインつき)
小 高校生 500 円 未就学児 無料



「現代作曲家は、大変かわいそうだ。彼らは今の現代の作曲家よりはむしろ、束になってかかって来る過去の作曲家との競争にさらされているのだから」ある本にこんなようなことが書いてありました。目から鱗です。でも、彼らの残した「そのすばらしい作品」となると、果たしていくつ知っているでしょう？ 現代の作曲家がそんなに苦労しているなら、さぞかし素晴らしいものが多いに違いない、でも一つずつ長そうだし、どこから聴いたらよいかかわからないと、食わず嫌いしてしまいますよね。

お茶の間クラシックシリーズは、そんな方々のために企画しました。今回のお題は「バッハ」。イギリス民謡で箸休めしながら、楽しい時間を過ごして頂こうと思います。何百年を経ても、競争力を失わず現代の作曲家を悩まし続けている1100曲もの作品の中から、今回は日曜の午後に相応しい曲を器楽曲と声楽曲から2曲選んでみました。



< 演奏曲目は・・・ >

バッハ作曲 「管弦楽組曲第2番」

(フルートが華やかに舞い、バッハ聴いた～！！って気分になること請け合い)

イギリス民謡 アニーローリー、スカボローフェア、ダニーボーイほか

(ぜひ皆さんも一緒に！)

バッハ作曲 「コーヒーカンタータ」

(お願い！ コーヒー飲ませて～！！・・・てな曲)

みなさん、お気軽にお越しください。それでは、会場でお会いしましょう。



予約は不要です

会場に直接どうぞ

(内容問合せは 土谷庫夫・チェロリン村・村長)



cla-o@hotmail.co.jp